

業務再開第一週目における会員企業の状況

会員企業の皆様:

第20-2号会報でご説明したとおり、上海市、浙江省、江蘇省は、2月9日以前に業務再開してはならないと決めました。2月10日に業務再開が可能となつてから約1週間が経過しましたが、各社の再開状況がどのようなものか、上海市、浙江省、江蘇省にある顧客企業(いずれも日系)から10社を選び、下記のようなインタビューを行いました。貴社の参考としていただければ幸いです。互いに助け合いながら、危難の時期を無事乗り越えられますよう願っています。

Q	質問	LT上海/コンサルティング業/25人/上海市長寧区/オフィスビル	中国投資/280人/上海自贸区/自社建建物	中国本社/100人以上/上海闵行/自社建建物	生産サービス業/20人/上海/オフィスビル	貿易業/53人/上海市内オフィスビル	卸売り貿易/10人/上海市内オフィスビル	生産型/500人/浙江省嘉興市/自社工場	生産型/200人/江蘇省常熟市/自社工場	生産型/180人/江蘇省蘇州市	生産型/200人/江蘇省常熟市/自社工場
1	貴社は業務を再開しましたか? いつ再開しましたか?	2月10日に業務再開。	2月10日に業務再開。	2/10の業務再開。上海から出たものは在宅で隔離。	2月10日に業務再開。業務状況に応じ、在宅勤務できるならばできるだけ在宅勤務するよう要求。	2月17日に業務再開を計画。	2月10日に業務再開。	2/7日に業務再開申請を提出。政府は2/14の業務再開を認可。2/17に漸次業務再開を計画。	2月10日に業務再開。	2月11日に業務再開。	春節にも業務停止せず。2月10日に業務全面再開。
2	勤務形態は? (正常出勤/在宅勤務など)	原則としてオフィス勤務。ただし業務再開後、詳細な情報を町内管理者(街道)と居住区管理者(物業)に提出する。	各部門で毎日1-2人が当直として(全社での毎日の出勤者数は30-40人)、交代で出勤する。他の職員は在宅勤務し、企業版Skype、微信、ビデオ会議などを利用する。	正常に営業。条件に適合する者は在宅勤務。管理職者は全て出勤。	原則として在宅勤務。	2/17~21日は在宅勤務。	原則としてオフィス出勤。ある者は在宅勤務(在宅での観察が必要となる者)。外地から上海に戻り14日の隔離を経ていない職員は出勤できない。	職員はまだ出勤していない。営業部と管理部は在宅勤務。	出勤率は85%。一部の者は在宅隔離が常態にまだ戻っていない。	出勤率80%。一部は在宅隔離が蘇州にまだ戻っていない。	出勤者は半分以上。残りは在宅隔離が常態にまだ戻っていない。
3	業務再開の前に申請または届出が必要でしたか?	必要なし。ただし業務再開後、詳細な情報を町内管理者(街道)と居住区管理者(物業)に提出する。	事前の届出は要求されていない。ただし2/10の業務再開当日に数人の政府機関の担当者が業務環境を調査し、企業の指図を調査した。	届出が必要だが、認可や同意を得る必要はない。	2月10日の業務再開前に居住区管理者(物業)から表を受け取り、記入して提出した。	上海:居住区管理者(物業)が業務再開調査表、誓約書の提出を要求。蘇州支社:業務再開調査表のオンライン申告(3日前に会社にきて検査)。広州支社:業務再開情報と誓約書のオンライン申告。北京支社:提出居住区管理者(物業)に簡易業務再開情報表を提出。重慶支社:オフィス所在地に感染が見られるため、24日以前は業務再開ができない。武漢支社:決定待ち。	必要なし。ただし業務再開後、詳細な情報を町内管理者(街道)と居住区管理者(物業)に提出する。	認可が必要。	認可が必要。	認可が必要。	認可が必要。
4	業務再開の申請が必要な場合、どんな資料を提供しましたか? どんな物資を準備する必要がありましたか?	/	/	区が統一して要求。提出するだけで良い。	/	資料は同上。消毒液とマスクを準備。	町内管理者(街道)が公布した携帯用APPで個人情報と上海帰還者の隔離状況を記入。	詳細な応急案。防疫物資の準備/現場の隔離室の準備/疑似症例出現時の対応。	誓約書、状況確認表、安全生産誓約書、物資準備などの資料。	誓約書などの資料。	各種資料。部下の担当者が作成しているため、具体的にはわからない。
5	マスクや保護設備などはどうしていますか?	自宅にストック。総経理が日本から持ち帰り各職員に50個ほど支給。	日本本社/駐在員が日本で購入し手荷物として持ち帰った/日本の商社から購入。今は4000-5000個ほどある。出勤職員に毎日1個支給。	日本からマスクを取り寄せ数は十分。ただし防塵用。国内でも調達し、2週間以内に受け取る予定。公共交通手段を禁止。自家用車、家族による送迎、職員の同乗(会社が費用を払戻し)。	日本が2月10日にマスクを郵送したが、今はまだ受取っていない。	日本本社と国内の代理業者が一定数提供。	自宅にストック。総経理が一部のマスクを持ち帰った。日本の親会社からEMSで各職員50個分の普通のサージカルマスクを送った。またN95マスクとゴーグルもある。	1/21に状況が緊急であることに気づき、サプライヤーに追加注文した。春節期間には親会社が日本から緊急調達した。これに加え、現在の在庫が約2-3週間分ある。	マスクは、本社が18000個ほど送ってくれた。	マスクは本社が送ってくれ、現地でも少数準備。	本社が送料+現地でも調達。
6	駐在員は何人おられますか? そのうち現地には何人いますか? 他の方は中国に戻る計画はありますか?	駐在員はいない。総経理は日本に出張し、まだ戻っていない。	駐在員約60人。現在40人ほどが中国におり、他の日本にいる者は来る予定は今のところない。駐在員の家族は戻ってこない。	20名余。管理職者以外、他は在宅勤務。駐在員の家族は帰国を考慮しているが、駐在員には帰国の計画は今のところない。	駐在員は3名。うち1人は春節前に日本に帰り、別の2人は今週中に日本に帰国。帰国後2週間の隔離を経るため、2月中には中国には戻れない。いつ中国に戻るかは日本の親会社が決定する。	駐在員は2名。いずれも今日本にいる。	駐在員は1名。現地に1名おり、中国に戻り、在宅勤務。	全部で8名。現在、中国にいるのは1名、他は日本を待機。	全部で7名。5名が現地におり日本に帰国していない。2名は今のところ中国に戻る計画はない。	駐在員は合計4名。いずれもまだ中国に戻っておらず、3月以降に戻る予定。	8名。いずれも中国におり、多くはまだ日本に帰っていない。
7	日本人駐在員が不在の場合、業務はどのように行っていますか? (報告/決定など)	/	/	wechat連絡	緊急案件はメールで連絡し、その他は基本的に保留。	電話、メールで連絡。副総経理が中国人で蘇州に常駐しているので、社内の業務を処理できる。	日常業務は正常に運営されている。必要があれば総経理に報告し決定を仰ぐ。	総経理が決定の責任を負うが、他の者が主に技術面の責任を負うので、業務は正常に行われている。総経理と副総経理のどちらもいる。	メールまたは電話で報告	正常に運営。	
8	今一番困っている事や難しい問題はありますか?	上海では状況がコントロールされることを希望する。身の回りのことから徹底する。	職員の様々な出勤や資金支払いの問題への対応。統一の方針がない。各職員の要求も異なるため、困難を覚える。	販売会社はそれほど大きな問題は無いが、市場への影響は大きい。工場も現地政府の政策に従い業務を再開し、隔離すべきは隔離している。	マスクの必要が痛切。	防疫物資が不足し、調達が困難。	オフィスビル付近のショッピングエリアで診断が確定した者が1人いた。会社と比較的近いので、在宅勤務の方が安全なのか? リスクの把握が難しい。	一番難しいのは、業務再開前に職員情報を行う調査。疑似症例が出ないよう、現地職員を含む全職員の行動記録などの情報を調査を行わねばならない。外地の職員は戻れないため、業務再開率が低い。	1. 2月に始まる職員考課をどう処理するか、資金をどのように支給するかなどの問題。2. 生産におけるサプライヤー管理、物流輸送。3. 人員の募集。	新たな政策に一番関心がある。職員の20%がいつ戻れるかが関係しているため。	/
9	業務再開1週目の感想は? これから業務再開する企業への提案はありますか?	オフィスのセントラル空調が使えないため、非常に寒い。これから業務再開する企業は暖房機を購入し、職員が暖を取れるようにする必要がある。この大変な時期に風邪をひいてはいけないから。	/	飲食の衛生に特に注意すべき。	政府の政策についてLT社の会報を含む情報が適時に彼らの総経理に届けられることを願う。	/	オフィスのセントラル空調が使えないため、非常に寒い。これから業務再開する企業は暖房機を購入する必要がある。会社は職員が公共交通手段を利用しなくても良いように、出通勤のための車を別途手配する必要がある。	/	忙しい。とにかく忙しい。保護をしっかりと行い、検査に対応し、職員の情報も適時に把握する必要がある。	政策に絶えず注意しているよう提案する。	非常に忙しい。政策に従い職員の管理と保護措置をしっかりと行うこと。